

「わたしは神、あなたの父の神である。
エジプトに下ることを恐れるな。わたしはそこで、あ
なたを大いなる国民にするから。わたし自身があなた
といっしょにエジプトに下り、また、わたし自身が必
ずあなたを再び導き上る。」

(創世記 46:3,4)

ハレルヤ！いよいよ初秋、収穫の秋に向か
いますね。コンベンションでは大変、お世
話になりました。

チア・コンベンション、今年も神様のあわ
れみと恵みの中で、深く励まされ、チャレ
ンジを受ける時を過ごさせていただきまし
た。大阪・東京会場、合わせて830名もの
皆さんが今年も参加くださいました。ご参
加、お祈り、本当にありがとうございました。

今は、ますます祈ること、イエス様がとも
にいてくださることを信じ、恐れなくて、
勇敢に歩いていくことを示されています。
11月の白馬セミナーに向けての準備も進ん
でいます。ぜひ、ご参加とお祈りをよろし
くお願いします。

皆様へのイエス様からの益々の恵みと祝福
を祈っています。

チア・にっぽん
稲葉 寛夫



北沢調リゾートホテルで
60種類以上の和洋中のバイキング、
11種類のお風呂と温泉、
大好評のチルドレンミニストーリー、
キリストの弟子となる訓練を受ける
リーダーズ・イン・トレーニング(山T)
など、盛りだくさんの内容です！

前回参加者
360名！

約20人の
講師陣！
約50の
講演！

父の心を子に向け、子の心を父に向けて (マラキ4:6)

チャーチ&ホームスクーリング
CheaJapan
SEMINAR 2019
励ましとチャレンジ
セミナーin白馬

講師
テッド&マージー・トリップ博士夫妻
Dr. Tedd & Margy Tripp
(「聖書が教える親と子のコミュニケーション」著者)

場所 ▶ ホテルグリーンプラザ白馬(長野)
11月21日(木) - 23日(土)

チア・にっぽん TEL: 042-318-1807 FAX: 03-6862-8648 www.cheajapan.com

白馬セミナー どなたでも大歓迎です。ベストセラー「聖書が教える親と子のコミュニケーション」著者のテッド&マージー・トリップ夫妻が基調講演者です！

チア・コンベンション、世界のコンベンション にない「伝道への気概」に励まされました (ジェラルド・ヒューブナー氏)

基調講演者として、カナダから来日くださったジェラルド&ベバリー・ヒューブナーご夫妻にもとても励まされました。ジェラルドさんのコメントにも、驚き、うれしかったです。ジェラルドさんは、講師として北米、ヨーロッパ、ロシア、南米とまわる中、カナダの州のホームスクーリング団体を長く運営し、また、HSLDA（ホームスクーリング法的擁護協会）カナダ代表として尽力してこられました。

ジェラルドさんは、大阪会場でのフィナーレで次のように話してくれました。「私は北米や世界各地のホームスクーリング団体のコンベンションに数多く参加したり、主催したりしてきました。今回、チア・にっぽんのコンベンションに参加させていただき、とても励まされました。このコンベンションは、これまで私自身が参加した、どのコンベンションとも、全く違いました。普通は、自分たちにどんなメリットある情報が得られるか、参加者は必死です。チア・にっぽんの皆さんは、自分のためだけでなく、ここで得た情報をいかに他の人々のために活かしていくか、つまり、将来、伝道にどう活かしていくか、将来出会う、他の人のためにという、ミッションへの強い目的意識を感じたのです。皆さんは、職業に関係なく、何らかのミッションに関わったり、強い伝道の心を持たれているでしょうか？多くの皆さんと話してみて、将来の伝道のためのホームスクーリングというすごい気概を感じました。これは私が40年余りのホームスクーリングライフを通じて参加した北米のコンベンション等では感じたことのない目的意識で、敬意と衝撃と感動を覚えたのです」とのことでした。

このようなコメントをいただいたことは20年の歴史の中であまりなく、そのような思いが流れ、実として現れてきている状況に、とても励まされました。チアの3つの強い目的、「子どもたちの魂

の救い」「キリストの弟子の心を与える」「伝道・世界宣教」のスピリットを参加者の皆さんから感じ取ってくださり、とてもうれしかったです。

助け合い、祈り合い、励まし合う特徴

またジェラルドご夫妻は東京では、初日の夜に2時間ほどかけて開催される「アップデート」の時間に参加され、約120名余りの全家族からの近況報告や祈りの課題に耳を傾けていました。疲れておられるので、部屋で休むことを提案しましたが、お二人の熱意の中で、全員の話が聞かれました。「私は、今夜もとても感動しました。このように皆さんが大変なことや辛いことを分かち合い、助け合い、祈り合い、励まし合って進んでこられたことも、日本のホームスクーリ



ジェラルド&ベバリー ヒューブナー夫妻「チア・コンベンションは世界のものとは違った。ミッションへの気概に感動した」コンベンション大阪会場にて

ングムーブメントの特徴だと思いました。とても励まされました」とのことでした。

ジェラルドご夫妻は、「大器晩成－焦って急ぐよりも、遅れてもじっくり取り組む方が大事」と、完璧主義に陥らず、聖書にあつて自信を持って進んでいくことを様々な事例から話してくださいました。

また、ゴスペルシンガーで、テラー・スウィフトのミュージックビデオに出演するなど、子どもたちが巣立った後にハリウッドやポップス界での活躍も広がっている Junko さん、宮城明泉学園長のダニエル・ファンガーさんによる「実社会で輝くために－神様に教えられて今すべきこと・教えるべきこと・心に刻むべきこと」の講演も実践的で大変好評でした。そのほか、今年もたくさんの講師陣を神様が送ってくださり、神様を讃えています。参加者の皆さんからのコメントは27ページに掲載しています。また、当日の講演CD等も準備ができました。同封の申込書をどうぞご利用ください。

羽ばたくユース向け「白馬個人伝道セミナー」証し者募集開始！

今回、大阪会場に、新しくデザインされたチアTシャツを持っていくことを忘れてしまいました。前日の準備を長野県から来て手伝ってくれていた2人のホームスクーラーOBが「稲葉さん、車で片道6時間ぐらいで行けるようなので、明日、朝の開会式に間に合います。取りに行きます」と言ってくれて、私は涙が出るほどうれしかったです。もちろん、下諏訪から大阪への運転とコンベンション準備で疲れた後の長距離運転は危ないし、気持ちだけ受け取ったのですが、二人の気持ちは本当にうれしかったです。こうした温かい心を持ったOB/OGたちの成長に、たくさん出会えることも最近のコンベンション等の特徴です。白馬では、OB/OG、ユース向けの個人伝道の方法セミナーも初めて企画中です。そこで皆さんの力を貸してください。数分で福音を語る等、個人伝道の秘訣を子どもたちに語ってくださる方（一人7-15分程度）で公募させていただきます。（詳細は22ページ）子どもたちが社会でますます神様に用いられていくセミナーとなればと思っています。公募とお祈り、どうぞよろしくお祈りします。

皆さんのご参加とお祈りを改めて感謝しています。コンベンション後、イエス様のことを信じた方も与えられたとのうれしいご連絡もいただきました。引き続き、祝福をお祈りいただければ幸いです。

小畑英基さん、天国へ

6月20日、7年あまりの（急性骨髄性白血病の臍帯血移植後の免疫反応）との闘病が続いていたホームスクーリングお父さんの小畑英基さん（60歳）が、急に天に召されたとの知らせが届きました。ジョセフと一緒に、長野県下諏訪町での召天式に出席させていただきました。

1ヶ月前のコンベンションでは、長男の望君（20歳）がOBとしてボランティアにかけつけてくれ、「お父さん、どう？」と聞くと、「調子いいです。元気に送り出してくれました」と明るく答えてくれていました。妻の由美さんによれば、約7年間、白血病に併発する肺炎等で何度も命の危機をさまよい、悪化していたそうですが、この4月と5月だけは、湖畔の散歩もほぼ毎日できて祈り合ったり、話したりできる状態で、どんどん癒されていくのではと思える、神様のプレゼントのような日々だったとのことでした。それだけに突然の訃報は、私にもショックでした。

小畑さんは、発病後、東京の虎ノ門病院での治療が必要となりました。それで、由美さんと子どもたちが約半年、チアの女子寮に滞在しながら、看護に出かけることとなり、その間、長屋住まいのような素晴らしい時間を共に過ごさせていただきました。

その後、肺炎や記憶障害などに苦しまれ、入退院を繰り返しました。でも元看護師の由美さんを中心に、ご家族の看護の中で自宅で療養されつつ、ホームスクーリングを継続され、子どもたちの教育に心を尽くされました。長女の百合花さん（24歳）は看護師、望君は神学校を経て塾講師として働き、喜歩さん（14歳）は中学3年生です。

司式は、やはりホームスクーラーの清野基牧師が行われました。突然の召天で、ご家族も教会の皆さんも深いショックと悲しみの中にあつたと思いますが、キリストにある永遠の命に目を向ける希望に満ちた、明るく素晴らしい召天式でした。

チアへの最後の参加は、3年前の白馬セミナー



天国に召される1時間前、小畑英基さんとご家族の写真撮影ができました！

で、最後に皆さんの前で証ししてくれました。「白馬のホテルのおいしい食事、妻が部屋に運んでくれました。でも、どれを食べても味の感覚がまったくなく、紙を食べてる感じ。前に白馬で味わった思い出の味を思い出しながら、これこんな味でおいしかったなーと想像しながら食べています。記憶にも障害があり、今、皆さんに話していることも明日の朝には忘れてしまうと思います。でも感謝です」と話してくださいました。私はご家族全員で参加できたことがうれしく、一緒に過ごした以前の白馬や夏キャンプや東日本大震災ボランティアとか思い出しつつ、皆さんに小畑ファミリーや英基さんのことを紹介しながら、思わず涙があふれてきました。

式後、そんな話をジョセフ（10）にすると、「白馬での小畑さんのこと、よく覚えてるよ。ホテルの食事を食べても味の感覚がまったくなく、紙を食べてる感じで、前の白馬を思い出しながら食べてるって話も。今、話していることも明日朝には忘れてしまい、思い出せないと思うってことも」「そうだね。ジョセフにもインパクト大きかったのだね。小畑さん、明日、覚えていないから、この瞬間の喜びを今、神様に感謝したい！っておっ

しゃってたんだよ」と話しました。

「17年ほど前に、京都で、ホームスクーリングセミナーを催してくれて、自宅に泊めてくれたんだ。サマー・キャンプや震災ボランティアで活躍したり、発病直前の白馬セミナーの閉会式で、英基さんが最後の祈りを参加者代表でしてくれたんだよ。チャでのご家族との半年は忘れられないな…」

約7年、まさに献身的に介護された由美さんは、「子どもたちにも、あるいは、

ほかの方にも、英基さんは、聖書の多くの種を蒔いてくれたと思います。そんな英基さんをますます好きになっていきました」と話してくださいました。

式の中で、百合花さんが「発病してから、私は父と直面することを避けてきた思いでした。でも、これで最期かもしれないと言われた病室で、私は父と直面できました。とてもうれしかった」と話してくださいました。英基さんが子どもたちに送った聖句の一つはミカ書6章8節だそうです。

「主はあなたに告げられた。人よ。何が良いことなのか。主は何をあなたに求めておられるのか。それは、ただ公義を行い、誠実を愛し、へりくだってあなたの神とともに歩むことではないか」

ホームスクーラーお父さんの衣笠健三さんが、私とジョセフを駅に送ってくれたのですが、駅に着いた時、泣きながら「百合花ちゃんの話聞いて、英基さんは最後まで子どもたちを教え続けたんだ、最後のホームスクーリングをして旅立ったんだなーと思いました。そうした絆が与えられたのは、日頃の英基さんと子どもたちとの絆の積み重ねがあったからだと思うし、それを可能にしたホームスクーリングって素晴らしいなと改めて思

いました。私も子どもたちに、ますます心を注いでいこう、祈っていこうと思いました」と話してくれました。由美さんたちも2ヶ月がすぎ、今、寂しさが募り、何を見ても思い出して涙が出てくる日々とのことです。小畑さんご家族への慰めとますますの祝福を皆さんと祈っていければと思っています。

テモテさんと医師との対話より -いのちと神様の不思議-

同じように、骨髄のガンで闘病しているテモテ・ブローマンさんに、丸森の伝道者の皆さんらの猪苗代湖キャンプにて3ヶ月ぶりに再会できました。7月に発熱し、血液検査の数値が悪化し、抗がん剤治療を中断していたところまで聞いていましたが、その後、今回も回復し、臨床研究の薬での11回目の抗がん剤治療を再開できる状態になったとのことです。左大腿骨に腫瘍が見つかり、放射線治療が必要なながらも、腫瘍が1ヶ所に限られ、10年、20年と生きる可能性も見えてきているとの医学的には不思議と言える、良き状況とのことです。

「(テモテ) チア・コンベンションや夏の伝道には行けなかったけど…」ということですが、顔色も良く、いつものテモテさんらしい様子でした。

テモテさんは、発病して7年目となる中で、複数の医療チームから何度も末期と診断されながら、奇蹟の回復を繰り返していました。当時の状況については、これまでチアの皆さんにも祈りの課題としてお伝えした通りです。今回も、テモテさんからの話でずいぶん、励まされました。

まずは、出会う医療関係者の皆さんから多くの好意を得ていること。ダニエル書1章9節「神は宦官の長に、ダニエルを愛しつくしむ心を与えられた」とある通りだと思いました。上記の通り、テモテさんは7年間にわたり、抗がん剤治療を受けています

が、既に、効果のある抗がん剤は無くなってきているとのことです。そうした中で臨床研究の抗がん剤が用いられることとなり、一定の効果を示しています。

「(テモテ) その薬は高額ですが、低所得者の私は保険に助けられています。もちろん、保険の審査も厳しく、友人(クリスチャン)のB医師によると、6クール(半年分)のセットで、それが11ヶ月も用いることができているのは、大きな恵みと言えます。B医師によると、背後では、この最新の薬に最前線で取り組んでおられるA医師が担当医となってくださり、忙しい中、審査会への書類提出等、様々な尽力をしてくださっているそうです」。神様の恵みとあわれみの御手があり、また、A医師にも、テモテさんを「愛しつくしむ心」(ダニエル書1:9)が与えられているのだと思いました。

「(テモテ) 神様は、日米からいろんな医療関係者の皆さん、臨床研究の薬ほか備えてくれました。こうした医療チームや薬にも感謝です。何より、すべてを神様が支配しておられる、そのことを思わざるを得ません。たとえ元気であっても、明日の命も分からないのだし。1日1日が奇蹟だと思っています。先日も治療してもらった後、妻と車で帰宅途中、危うく交通事故に遭うところでしたが、免れることもできました。1秒単位で神



テモテさん、湖畔で洗礼を受けた直後の4男ジェレマイヤくん(15)とドルカスさんと共に(猪苗代湖にて)

様の御計画を思わずにはられません」。私自身、その通りだと思いました。このような一瞬のことで守られる体験、まだ使命があるから生かされているのだと思わされる体験、そして、これからのために悔い改め、反省すべき、注意すべき点、祈るべき点等、示されることの多い日々です。テモテさんの言う「神様がすべてをつかさどっている。1日1日が奇蹟で生かされているので、神様のみことばに従順に歩み、使命を全うしたい」との言葉に、心が染み入る思いでした。

神が授けた尊い永遠のいのちのために一生懸命、使命を果たす目的についても改めて教えられました。

「(テモテ) 多発性骨髄腫の治療において、日本で一番骨髄移植手術の成功数が多い女医のC医師に手術をしてもらう恵みにもあずかりました。そのレベルの彼女になかなか福音を語るチャンスがなかったのですが、3ヶ月経ってチャンスが来ました。休みの日に私服で私の部屋を見舞ってくれたのです。そこで私は、『先生のお時間がある時に聞きたいことがあります』と聞いたら、『今いいですよ』と言われ、質問をしました。『先生は、骨髄のがんの治療をなさってくれていますが、完治するものではなく、延命措置をしているだけでも言えます。この仕事をなぜ、何のために、選んだのですか?』。C医師は、にこにこしながら、真摯に考え、身を乗り出してくださいましたが、返答がありませんでした。『今の質問の答えは、聖書に書かれてあるのですよ』と私は言って、棚に彼女のために置いてあった聖書を取り出しました。

ルカの福音書を開き、『医師であったルカが、様々な調査に基づいて書いた報告書です。神は人間を神の似姿に創造し、尊い命を吹き込み、永遠の霊を与え、愛されました。しかし、人間は自己中心であり、罪を犯し、その罪の報いとして永遠の地獄の苦しみが待っています。でも、神は人間一人ひとりを愛し、キリストの命を身代わりにして十字架で罰し、キリストの死を通して人間の罪を赦しました。3日目に復活したキリストは、信じる者に永遠のいのちを与えます。C先生は、この神から与えられた尊い命を大切にすることを、日夜、奮闘され、努力され、今日も休みの日なのに、こうして患者一人ひとりを見舞ってくださいました。すべての人間は、本来、神に与えられた、『い

のち』を大切にするように心に書かれています。医師ルカの調査に基づく、神の愛と赦し、キリストの十字架の死と復活によってもたらされる永遠のいのちの尊さを考え、キリストの愛と赦しの福音を信じてくださったらうれしいです』と聖書を手渡しました。いつもあんなに忙しいC先生は40分ほど話を聞いてくださり、聖書を丁寧に受け取ってくれました。とても嬉しかったです。」とのことでした。

神に与えられた永遠につながる『いのち』を大切にするために、神様が「走りとおしたね」と言われるまで、力を尽くすことができるように…と、祈りました。

ノンクリスチャンからの叱咤激励 (トーマスさんより)

伊勢崎の皆さんの東京伝道が続いています(26ページ参照)。チアも協賛させていただき、チアの皆さんの参加も続いています。私も次男ジョセフ(10歳)と一緒に4月末と8月13日に参加させていただき、とても励まされました。ジョセフも、「パンフレット伝道、大好き!」とのことでうれしいです。

こうした路傍伝道を70年あまり継続されてきたのが丸森チームです。その一人で、チルミニほか、ずいぶんお世話になっているトーマス・ブローマンさんから、ノンクリスチャンの方に叱咤激励された話を伺いました。

この夏の仙台での路傍伝道中のことです。トーマスさんのもとへ、大柄で黒いサングラスをかけた迫力ある方、Aさんが迫って来られたそうです。以下、トーマスさんから伺ったAさんとの実際のやり取りです。

「(A) なんだ、あの看板持ってる若者は。携帯電話でメール打ちながらやってるじゃないか。聖書のことばを掲げてるんだらう? 携帯で遊びながらやるんじゃないよ」

「(トーマス) まったく、その通りだ」

「(A) 俺は明泉幼稚園の卒園生なんだ。ハリガン先生が話してくれた聖書のことばは今も俺の心に残ってる。アルバイトじゃないんだ。携帯で遊びながらやるのはおかしいだらうが」。

実際は、その聖書のプラカードを掲げた若い方は、仕事のことばで緊急のメールを打っていたそう



トーマスさん、叔父のピリポ・ブローマンさんと共に。(猪苗代湖にて) ピリポさんも元気です。2021年8月のサマーキャンプにて基調講演予定です。

ですが、確かに、傍から見たら誤解されてもしょうがなく、また、トーマスさんは、その方の話を聞きながら、まず、そのように見ておられることに、心を正されたそうです。

ハリガン先生は日本で50年あまり伝道され、18年前に仙台で天国へ召されました。

「(トーマス)ハリガンさんは、俺たちの大先輩の一人なんだ。俺の妻は、ハリガン先生の娘の一人なんだ」

「(A) おー、そうか。ハリガン先生はな、本当に真剣に聖書話を話してくれたんだ。悪いことをしたら、まず、神様に正直に話して謝れってな。俺はその言葉が忘れられず、その後、人を殺すことを含め、いっぱい罪を犯したのだけど、神様にも全部、正直に話して謝り、悔いて、刑務所にも長く入ったよ。ハリガン先生の聖書の言葉は忘れられないから、神様に謝ったんだ。今から50年あまり前のことだ」

「(トーマス) そうか。聖書のことばを心から受け止め、真剣に謝ったっていうのは、本当に素晴らしいよ。ハリガンさんは、もう一つ、大事なことを話されたらどう？神様に罪を正直に告白し、真剣に謝ることが必要。その後は、そ

の罪を赦すために、十字架で俺たちの身代わりとなって死んで罰を引き受けてくれたキリストを信じるように！と。そうすれば罪赦されて、必ず、天国に行けるからと。それはしたか？キリストを信じたか」

「(A) そうだ。ハリガンさん、話してくれた。そこはまだなんだけどな」

「(トーマス) そこはとても大事なところだから、遅すぎないうちに、全ての罪を赦し、天国への切符を与えてくれるキリストを信じてくれ！そうしてほしいよ」

「(A) わかった。本当に今日はこのような話ができてうれしかった」

Aさんは、右手を差し出し、トーマスさんと固く、握手されました。

「(トーマス) ありがとう。さっき、注意してくれた点、本当にありがたいよ。あそこで立ってる若い者だけでなく、みんなに伝えるよ。改めて、聖書の言葉を掲げて重みを自覚して、心を尽くして伝えていくように、胸に刻み直すよ」

「(A) よろしくな！」

トーマスさんは日曜の礼拝で丸森の伝道者の皆さんに、未信者の方から教えられた教訓として、この話を分かち合われたそうです。50年前に蒔かれた聖書の言葉の種、様々な悪いことをし、また長き年月が経っても、神様の愛の中に、蒔かれた種が育てられていることへの感動、そして、神様の計画は、私たちの想いや計画をはるかに超えて、崇高で素晴らしいことを強く思わされたそうです。

ハリガン先生は妻のジーンさんと共に、ボブ・ジョーンズ大学の卒業生でした。19年前から、チアでは、ボブ・ジョーンズ大学発行の「聖書に立つ教科書シリーズ」を順次、出版させていただいています。その時、第一号の『こころを育てる－聖書2』を手に取り、しばらく読まれたあと、「これはいい。とてもいい。がんばりなさい」と励ましてくれました。私は、その時のことを思い出し

ながら、トーマスさんの話を聞きました。さらに真剣に伝道に向かうことを未信者の約50年前の卒園生から示されたと聞いて励まされ、私も一層、真剣に福音を宣べ伝えていけるように祈りました。

つま先着地&歩幅増走法 パート2

「つま先での着地走法、すごく教えられました。具体的に見せてください」。コンベンションの大阪会場、東京会場で、多く聞かれた質問は、前号のニュースレターに掲載した青木社長に習った「つま先着地&歩幅増走法」についてでした。「つま先着地」は特にマラソン界でこの2-3年、世界の走法として、また昨年日本記録を出した大迫傑選手がボストンマラソン3位入賞した際、ナイキの世界標準の走法として注目され、ナイキの「つま先着地シューズ」は大ヒットが続いています。

「つま先着地とは、例えるなら車の急ブレーキがかかった時に反動で助手席の同乗者の体が前に振られる、その推進力を活かし、かつ歩幅増を意識して前に進むことでスピードアップできる走法ですね」ということで、青木誠一さん（「ふとんの青木」社長、東京・立川市）に教えられた走法を実演しました。

今回は、その実践編で、日頃、どのような練習をするか、紹介したいと思います。ちなみに次男ジョセフ（10歳）はこの走法を取り入れて8ヶ月になりますが、所属する野球チーム内では、100m走等で6年生を負かすようになってきて、試合でも、盗塁やヒットエンドランをほとんど成功させられるようになってきました。2ヶ月に1度、指導いただいている青木さんから、「陸上部の走りになってきた!」と褒めてもらいました。

以下、青木社長からの解説です。



つま先着地&歩幅増走法を教える青木誠一氏。ジョセフは受講して半年、野球チームのリレーでアンカーを任せられました

まずはイメージトレーニングで、力点（膝）、支点（骨盤）、作用点（つま先）の3点で前進するイメージを持ちます。蒸気機関車や車のピストンが円運動をするイメージです。特に足を前に振ることを意識します。後ろへのキックは忘れてOKです。

「どうしたら早く走れるか、砂の上、水の上、氷の上と環境も変えて試し続けてきました。ひざ・骨盤・つま先の3点の『てこの原理』を意識し、作用した時に一番安定し、かつ速く前進することを体感しました。神様が、人間が速く走れるようにと、すごく精巧に創造された…と思わずにいられません」と青木さん。

この、てこの原理のイメージを持ちながら、20～30mぐらいのスキップ走、骨盤を前後に動かし

ながらのフリフリ走（ツイスト走）（ロックのツイストのように、腰を前後に振りながら走る）、モモ上げ走を各5本ほど行います。片足ケンケン走も各5本ずつ行います。それぞれ、前足の膝を前方にできるだけ高く、遠くへ投げ出し、足だけでなく骨盤から動かすイメージで進みます。仕上げとしてバウンディング走（鹿のように、ぴょん、ぴょんと高くスキップし、できるだけ前方に飛び、バウンドしていく走法）を行います。そうすれば、つま先着地の推進力を効果的に生かしながら、歩幅増を意識し、振り子が長くなることで、スピードアップが図れます。

世界記録保持者のボルト氏の歩幅は2.7m前後、100m走では40歩です。ボルト氏は背骨が湾曲していますが、青木さんは、それゆえ、左右の骨盤の「フリフリ」が自然と大きくなり、歩幅が広くなると、分析しています。日本のトップ選手は桐生祥秀、山縣亮太、サニブラウン・アブデル・ハキーム、多田修平、ケンブリッジ飛鳥各選手らがいますが47歩から48歩です。最近、好記録を出しているサニブラウン選手は、アメリカに留学しながら歩幅が拡がり、44歩に減っています。歩幅増が好記録になることを、どこまで意識しているかはわかりません。この走法は日本では「オーバーストライド」と言われ、敬遠されがちです。桐生、山縣選手らは、ピッチを速くするという従来の練習法が軸となっていると思われ、その後、伸び悩んでいると言われていました。今年、小池祐貴選手が上位に出て来ていますが、元幅跳びの選手がコーチとなり「ゆったり、大きく走る」走法を教えたのだそうです。それで歩幅が伸び、好記録となったと青木さんは分析します。オーバーストライドはダメという偏見をなくし、意識として足の回転を早く大きくしていくことを目指すとタイムは早くなるのです。

「(稲葉) チア・コンベンションでも言われたのですが、『それは外国人だからできる。小さな日本人にはできない』という声についてはどうでしょう？」

「(青木) チーターはライオンより速いのです。大きさでは、ライオンの体長は1.7-2.5m、体重120～250キロ、チーターは1.1-1.5m、21～72キロ。でもチーターは速いのです。ライオンは時速約60キロ、チーターは約110キロ。軽い体を武器に、チーターはしなやかにつま先走法で推進

力を生みだし、歩幅、跳躍力でライオンを追い抜いてしまいます。日本人選手も意識を変革していく中で勝てるのです。既にマラソンの日本人トップ選手は走法を変えていますので、短距離陣も変えてくれたらいいなと望んでいます」

「(稲葉) なるほど、野球も同じですね。メジャーリーガーの打法と日本のプロ野球選手の打法は、打球をミートする前のテイクバックの仕方等、大きな違いがあります。メジャーリーガーは、テイクバックをしないで、ムチのようにバットを振り降ろします。日本のコーチ陣は、それは外国人だからできる、日本人は非力で小さいので、打球を飛ばすためにはテイクバックが必要…と言われる方が多いです。先日もジョセフは元プロ選手コーチにそのように言われました。でもNHKの番組で、ソフトボールのアメリカ人コーチが同じく、テイクバックなしの打撃法を日本人選手に教え、日本人監督から同じ質問を受けました。『日本人には無理では？』と。その時、アメリカのコーチは、『アメリカでは、小さな選手もこの打法でレベルを上げ、結果を出しているのですよ』と答えていました。ジョセフに教えてくれている別の約10ヶ月個人レッスンしてくれている元プロのコーチも、また所属チームのコーチも、『ジョセフのメジャー式の打法は良いスピン（回転）でズドンと鋭い打球が飛んでいく』と高評価をくれています。走ることも同じですね」「(青木) その通りです」「様々な偏見や現状の習慣を打破していけたらいいなと思っています。ありがとうございます」

ケガをしないように、日頃からつま先歩きをする、階段を1段飛ばして上る等がプラスになるようです。最初につま先着地で歩いていると「稲葉さん、ケガしたのですか？」と言われていましたが、今ではスムーズにつま先で歩けるようになりました。大迫選手がつま先走法がいいのではと思って練習を始めたのは佐久長聖高校時代とのことで、早大・ナイキ時代も継続し、その積み重ねが現在の日本記録、世界トップランナーへの挑戦につながっているようです。神様の創造の素晴らしさを讃えながら、ホームスクーリングも含め、何事も聖書をベースに、正しい理論を求めつつ、現状打破で日々、改革前進していければと思っています。

現状打破で、先進的な走法をいち早く生み出した青木誠一さん。来年2月25日には、チア・メ

ンバーの皆さんに「つま先着地&歩幅増走法」の特別レッスンを指導して下さる予定です。年齢は不問です。詳細は次号、ニュースレター等で発表できればと思っています。こぞってご参加ください。(P36 参照ください)

友・ジョシュア・ハリスさんについて、神様に祈る

『聖書が教える恋愛講座』等の著作で知られるジョシュア・ハリスさんが、奥さんのシャノンさんと別離し、執筆した本の内容や自身の信仰を放棄し、LGBTの皆さんへの過去の発言を謝罪した等のニュースが駆け巡り、チア・にっぽんにも、いくつか問い合わせをいただきました。とても心痛む知らせですが、これを教訓とし、今後活かしていくべき点もあると思っています。チア・にっぽんとしての見解をお伝えしたいと思います。

チアとしての見解の概要 - 聖書に基づくメッセージは不変・教訓を活かす -

ジョシュアさんの聖書にあつての奮闘やこれまでの貢献を直接、間接に知る者としては、本当に残念で、心痛むニュースです。今にして思えば、2年ほど前から、前兆と思える知らせも寄せられていました。

結論としては、特に動揺することなく、著書の内容が聖書的であるので、今回のジョシュアさんの発言等とは切り離して考え、書籍については、今後も聖書に立つ教育書として用いていければと思っています。ただし、今のジョシュアさんの生活姿勢等、不適切な状況等があるのであれば、再考もあり得ると思います。ある方は、今回の発言を聞いた上で、読み直してみたら、書かれてある聖句や、聖書に基づく見解の深さや貴重な励ましが心に染み入ってきたとのことでした。同感です。

執筆者やその家族のプライバシーには配慮しつつ、私たち自身も今回の件から学ぶべき点があり、「神がすべてのことを働かせて益として下さる」(ローマ8:28)のであり、用いられていくと思っています。

「不法がはびこるので、多くの人たちの愛が冷たくなります」(マタイ24:12)とイエス様が言わ

れる時代です。人や時代ではなく、ますます神様に、聖書に直接関る関係を築き、神が与えて下さるミッションに尽力していければと思います。また、現在、信仰を辞めたと宣言したジョシュアさんですが、必ず復帰してさらに用いられていくことを信じ、祝福を祈っていければと思っています。

これまでの経緯

ジョシュアさんの著書は、チア・にっぽんから4冊出版させていただき、どれも聖書から多くのインパクトを与え、大勢の皆さんに用いられてきました。10年ほど前の白馬セミナーに、ご家族やお母さんのソノさん(故人)らと来日くださり、多くの皆さんを励ましてくださいました。お父さんのグレッグさんは、その翌年にご家族と一緒に、また一昨年にも白馬セミナーに来てくださっています。

そうした中、ここ2年ほど、ジョシュアさんが執筆した本のメッセージを放棄するといった発言が、ソーシャルネットワーク等で広まっていました。

コンベンションでのアナウンスメント

チアとしても出版元と情報交換を行い、今春、正式にジョシュアさんのアメリカ国内外の各出版社に向けた意向の確認が取れました。そこで先日の6月のコンベンションで、「ジョシュアさんが本の再刷を望まず、今、売り切れ状態に近い2冊の本の、これ以上の再刷ができない旨」を伝えました。でも、「聖書に基づく貴重なメッセージ自体が否定されるものでもなく、ジョシュアさんも出版社も、在庫の継続販売を否定していません。今後、再考する可能性はありますが、今はジョシュアさんの発言とは切り離して考え、在庫については継続して用いていこうと思っています。今、2つの作品が在庫切れ間近です。すでに3度、4度と重版を重ねてきた『聖書が教える恋愛講座』と『誘惑に負けないために』の2冊とも残数が少なくなっている状況です。導かれている方はお急ぎください」と伝えました。

その後、7月に入り「奥さんとの別離をジョシュア氏がインスタグラムで発表」のニュース、さら

に「自分はクリスチャンではないと宣言」のニュースと続きました。

教訓のポイント

ジョシュアさんが責められ、攻撃されてきたのは今に始まったことではありません。クリスチャンではない方々や、聖書を文字通り、神様の言葉とは信じない人々からの攻撃の連続でした。そうした、いわば外からの攻撃は、ものともせず、ミリオンセラー等、重ねてきた人物です。奥さんのシャノンさんも、ジョシュアさんを支える素晴らしいクリスチャンです。日本に宣教師として住んで、やってみたいし、日本でならできるのではと思うと私に話してくれていました。

神様に一層、祈り、神様に恵みとあわれみを求めていく必要を改めて教えられます。また、神様が万全の計画を持っておられ、悔い改めを蔑まれず、もしジョシュアさんが悔い改めをされるなら、赦しとセカンドステージを準備してくださっていることも示されます。「神へのいけにえは、砕かれた霊。砕かれた、悔いた心。神よ。あなたは、それをさげすまれません。」(詩篇 51:17)にも書かれた希望です。

聖書的な対応—みだりに他人に干渉しない (1ペテロ 4:15)

この問題から様々な声が寄せられました。失望・ショックやとまどい、憤り、責めもありました。難しいところですが、できるだけ聖書に基づき、神様からの愛と知恵をもって対応できればと祈っています。

まず、私たちの置かれた状況は以下の通りです。第一に、チアとしては、傷ついたジョシュアさんやそのご家族からアドバイスや助けを求められていません。もし求められていたら、神の家族として、万事を尽くして、サポートしたいです。今、そうした依頼はありません。第二に、何が起こったのか、詳しい事情が分かりません。ジョシュアさんの悔い改めや心の真相が分かる立場であれば、聖書からサジェスチョンしたり、指摘したり、励ましたりして貢献できるかもしれないですが、そうではなく、深層を理解していません。第三に、友人としてジョシュアさんやご家族の立場も理解

して祈り、何か貢献できればと思っています。ジョシュアさんのこれまでの奮闘も賜物も知っていて、祈り、励まし、何かできればと思っています。このような3つの立場において、何が聖書的なアクションか、考えてみました。

聖書では、みだりに干渉する者とならないようにとあります。第1ペテロ4章にある通りです。「あなたがたのうちのだれも、人殺し、盗人、悪を行う者、みだりに他人に干渉する者として苦しみを受けるようなことがあってはなりません」。今、ジョシュアさんから直接助けを求められていれば、深層を詳しく分かっているの行為であれば、干渉や介入や糾弾や裁きではない、積極的に働きかけ、神の家族として愛の行為を取れることがあると思います。親身になっての良きアクションが取れると思います。でも、チアは今、求められず、深層もよく分からない立場に置かれています。ジョシュアさんの悔い改めや心の真相が分かる立場であれば、聖書からサジェスチョンをしたり、励ましたりできるかもしれませんが、そうではなく、深層を理解していません。それゆえ、何かで孤立し、絶望してしまったのであろうジョシュアさんや、今、深い苦しみの中にあるであろうご家族のプライバシーや心情をできるだけ配慮し、尊重しつつ、神様に助けと祝福をとりなし、祈っていただければと思っています。できれば、今回の記事も英訳して、まずお父さんのグレッグさんに送り、遠き日本の神の家族から、癒しと回復と復帰を願う応援と友情と励ましとして、ジョシュアさんに渡していただければと願っています。

セカンドステージを待ち望み

神からの使命ではなく、人の声を聞きすぎて、神からの旗を降ろしてしまい、その後、次々と崩されていくことは、歴史的に繰り返されてきたパターンです。とにかく神様に直接聞き、従っていくことの重要性を、今回のジョシュアさんの件を通して、改めて教えられている気がしています。

ジョシュアさんは、今後、きっとイエス様への信仰を取り戻し、悔い改めの中に再び主にあって立ち上がる日が来ることを確信しています。聖書は多くの失敗者が、神様に癒され、教えられ、悔い改め、赦され、その真摯な悔い改めの中にセカンドチャンスが与えられていく、信仰の偉人たち

の話で満載です。アブラハムもヤコブもモーセもダビデもパウロもペテロも失敗し、謙遜にされ、真摯に悔い改め、そして、神様に励まされ、新しくされながら、セカンドステージで特別なミッションを果たしていきました。いつの日か笑顔でジョシュアさんと再会し、一緒にやっつけられる日が来ることを期待しています。「主ご自身がこう言われるのです。『わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。』」（ヘブル 13:5）



石破茂 元地方創生大臣、インタビュー続編にOK!（水月会パーティーにて）

国会議員の皆さんとの対話より

①石破茂元地方創生大臣

卒業式の翌日、ロサンゼルスから丸森・明泉の皆さんの理事会・相談会へ直行しました。80名あまりの皆さんが聖書にあつて話し合われる内容に、毎回、教えられます。丸森町と仙台でのミーティングが祝福され、その夜、東京での石破茂元地方創生大臣のパーティーに参加しました。

「前にインタビューで伺った、伝道者であった曾祖父の金森通倫さんについて研究された本を、私の父が送ってくれました。とても興味深いです。そのうち、石破先生とのインタビューの続編、お願いします」「そうですか。いいですよ。それでは、同じ話にならないように、今から勉強しておかなければならないですね（笑）」「大丈夫です。石破先生が、今、神様や聖書から何を教えられているか、そのお話を伺えれば、いいなと思っています」「分かりました。どうぞ、ご連絡ください」

②フリースクール等超党派議員連盟総会にて「チア・にっぽんからの報告と改正法への提言」

その週に「フリースクール等国会議員連盟」より、国会議員会館での「教育機会確保法」の改正案に向けた総会に招かれ、チア・にっぽんからの

提案等、報告する機会が与えられました。

河村建夫議連会長（元官房長官、元文科大臣）、馳浩議連幹事長（元文科大臣）から冒頭、あいさつがあり、その後、文科省から現状報告、そして多様な教育をめぐる5つの支援団体からの提案・発表の時間となりました。

「（寺田学事務局長）では、チア・にっぽんさんお願いします。」

「（稲葉） 私どもからの提案としては、3年後の法案の見直しの機会を設けるように、条文、もしくは付帯決議に付け加えていただければ、と思っています。各議員、文科省、法制局、各団体ら関係者の皆さんのお陰で成立・施行されています「教育機会確保法」の効果も増し、お陰様で学校・教育委員会の対応等、かなり良い方向に進んでいます。多様な教育をめぐる激動・変化の時代ともいえるだけに、3年後の見直しの規定を、条文・付帯決議等に明記していただければと願っています。ホームスクーリング・多様な教育への認知が少しずつですが、広がっていると思います。私たちは、団体を設立して20年目を迎えています、この春の学校・教育委員会との面談において、大きなトラブル等の報告はありませんでした。

私たちは、プロテスタント系のホームスクーリングのサポート団体で、チャーチスクールと呼ん

でいるキリスト教系のフリースクール約40校も含め、全国のホームスクーラーをサポートさせていただいております。例年、春先には何件かは不当な圧力をかけられるケース等の相談がありますが、今年が一番、スムーズに進んだ1年でもありました。それには、教育機会確保法の成立と浸透が大きいと思います。私たちは、チア・マガジンという機関紙に、教育機会確保法を4回、約350ページに渡って特集していますが、そうした資料を提示しながら面談を進めるように励ましています。「多様な学習の重要性を鑑みる」としたこの法律の存在も大きな助けになっています。虐待事件を受けて文科省から3月に通達を受け、教育委員会の皆さんらと面談を行った家庭もありましたが、「子どもたちの様子を見て、とてもうれしくなりました」といった、ポジティブな反応が全てでした。それで、本当に感謝です。

しかし今後の懸念がまったくないかといえ、そうではありません。たとえば、登校支援シートという、登校しないことを選んだ子どもたち、家族への調査書があります。これは、「教育委員会の調査」という名のもとに、各家族内のプライバシーや個人の尊厳等に関わる情報を無限に広め、侵害しかねない、大変な危険性をもった制度です。外部には知らせたくない情報の開示が無限に広がっていく状況にあります。教育委員会、学校の先生、担任だけでなく、主任、科目の先生、ク

ラブの先生、カウンセラーの皆さん、小中学校の連携、警察も必要だ…となっていきます。皆さん、良い動機で、その情報を見erとは思いますが、もっと共有し、連携しなければということで、30人、50人、100人と拡がっていきます。情報共有は必要な側面もあるのですが、非常にセンシティブな情報を地域の多くの人たちが知っている状況、教育委員会の判断で情報開示が無限にできることを保護者のハンコ一つの合意で進める現状のシステム、そこには危険性も含まれています。個人の尊厳、基本的人権を侵害していくという憲法も含めて、違反しかねない可能性も兼ね備えています。そうした点等を含め、3年後、再び検証できる、法律の見直し規定を入れることで、さらに良い展開を図っていくことができたらというのが願いです。以上です。」

上記提案を含め、いくつかの点を文科省の皆さんが持ち帰り、今後、検討を重ねていくこととなっています。法的な環境も、さらに良き整備ができるように、お祈りいただければ感謝です。

③国家朝餐祈祷会（下村博文元文科大臣・石破茂元地方創生大臣、山川百合子衆議院議員ほか）

6月12日、約500名が参加し、国家朝餐祈祷会（日本CBMC/青木仁志理事長主催 ヒルトン東京お台



フリースクール等超党派議連総会にて、多様な教育をめぐる「教育機会確保法改正」に向けて提案趣旨の説明をする筆者（左端・衆議院議員第一議員会館）



下村博文 元文科大臣

「多様な教育の確立を自らのライフワークに」

場)が行われました。石破茂元地方創生大臣の隣に、下村博文元文科大臣が座られ、挨拶に行きました。

下村元文科大臣は、多様な教育への制度改革をご自分のライフワークとして取り組まれ、教育機会確保法の成立に尽力された議員の一人です。

「(稲葉)本日はご出席ありがとうございます。教育機会確保法については大変、お世話になりました。お陰様で、全国のホームスクーラーたちも祝福されています。」

「(下村元文科大臣)あ、これはどうも。こちらこそありがとうございます。この会の顧問もされているのですね。今朝のクリスチャンの会は、稲葉さんの日頃のフィールドなのですね。」

「(稲葉)はい、クリスチャンの会は、私の日頃のフィールドです。今朝、集まっておられる皆さんも含め、多くの皆さんに助けられて進めています。」

「(下村元文科大臣)そうでしたか。」

隣に座られていた、チャーチスクールも展開されていた大川従道牧師に、下村元文科大臣が教育機会確保法成立に尽力されたことを紹介、また、下村元文科大臣の隣に座られていた石破元地方創生大臣にも挨拶させていただきました。また主宰者の一人でもある山川百合子議員とは、今後のフリースクール等議員連盟について話せて感謝でした。

朝食祈禱会では、石破議員が来賓として「世界

の指導者と共に、神の前に罪人であることを詫び、平和を祈ることを決して諦めてはいけない」と語られました。会の前後に、たくさんのチアのメンバーや、サポーター、OB・OGの皆さんに声をかけられ、また、多くの教職者の皆さんからも励ましの言葉をかけてもらいました。神様を心から讃えました。

④笠浩史議員から著書の贈呈

議連の座長代理をされている笠浩史議員から、著書「令和の日本をつくる」を贈呈いただきました。「フリースクール、ホームエデュケーションなど…従来の学校教育だけでなく、多様な学びの選択肢を用意しなければなりません。私は日本で暮らす全ての子どもたちの学びに責任を持つ国でなければいけないと思っています。こうした多様な学びの場に公的な支援を行うための第一歩となる議員立法『教育機会確保法』が成立しました。超党派の立法チームでは21回の協議を重ね、私も座長代理として取りまとめにあたりました(p129-131より抜粋)」と書かれてありました。多くの皆さんがホームスクーリング・多様な教育のために起こされていることを大変、感謝に思い、主を讃えました。



笠浩史 元文科副大臣 「人づくりなくして、国づくりなし-多様な学びの選択肢を用意しなければならない」



モロッコ撮影研修中の長女エミリ（中央）。

実社会へはばたく一カサブランカにて、バイオラ大映画学部の卒業生たちとともに。

長女エミリ、大学卒業&社会人へ

5月上旬、長女のエミリ（22歳）が、神様の恵みでバイオラ大学映画学科を卒業しました。3歳からホームスクーリングの恵みにあずかりました。卒業式は、キリストの栄光を現そうと社会に向かう卒業生とその家族ら4000人余りが集い、感動的でした。式後は、モロッコでの3週間の写真撮影研修へ。将来、写真カメラマンを目指しつつ、まずはソニーピクチャーズらを対象とした映画機材会社に就職、レンタル部門で5人の部下を抱えるマネージャーとしてスタートです。学生時代、大学の映画機材のレンタル・メンテナンス部門で、4年間働いていましたので、最初から管理職採用の祝福をいただきました。とはいえ、社会人として、まだまだ新人です。神様の栄光をよく現し、主にあって豊かに成長できるように、引き続き、祝福をお祈りいただければ幸いです。

「恐れるな、わたし（神様）がともにいる」と示された先達たち

神様に祈ること、共にいてくださる神様によく聞き従うことを示されています。ジョセフの就寝前に聖書を読み聞かせています。1度、通読した後は、「世界偉人伝」や「シートン動物記」になっていましたが、聖書2回目を再開し、「（ジョセフ）やはり聖書はいいな」となっています。

創世記、出エジプトと進む中で、再発見したのは、「恐れてはならない。…あなたの神、主が…あなたとともにおられるからである」（ヨシュア1:9）との聖句が、ヨシュアだけでなく、イサクにもヤコブにもモーセにも繰り返し、繰り返し、神様が語られていることに改めて驚きました。言い換えれば、信仰のパイオニアたちも、みな恐れを持っていて、神様が共におられることを神様から再確認していただく必要があったということです。

「主はイサクに現れて仰せられた。『エジプトへは下るな。わたしがあなたに示す地に住みなさい。…わたしはあなたとともにいて、あなたを祝福しよう。…そしてわたしは、あなたの子孫を空の星のように増し加え、あなたの子孫に、これらの国々をみな与えよう』（創26:2）

「…恐れてはならない。わたしがあなたとともにいる。わたしはあなたを祝福し、あなたの子孫

を増し加えよう。わたしのしもべアブラハムのゆえに」(創26:24)

「見よ。わたしはあなた(ヤコブ)とともにあり、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたを守り、あなたをこの地に連れ戻そう。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない」(創28:15)

「主が彼(ヨセフ)とともにおられ、彼が何をしても、主がそれを成功させてくださった…」(創39:23)

「すると仰せられた。『わたしは神、あなた(ヤコブ)の父の神である。エジプトに下ることを恐れるな。わたしはそこで、あなたを大いなる国民にするから。わたし自身があなたと一しょにエジプトに下り、また、わたし自身が必ずあなたを再び導き上げる…』(創46:3)

「わたしはあなた(モーセ)とともにいる。これがあなたのためのしるしである。わたしがあなたを遣わすのだ…」(出エジプト3:12)

上記の信仰の先達たちは、みな大きなミッションの前に、試練を与えられ、神様に鍛えられ、聞き従う従順さを身に着けてから、用いられていったことも共通しています。

神様が私たちにも、「恐れるな。わたしはあなたとともにいる」と何度も語ってくださっているとの思いがします。その神様のあわれみと恵みにより頼み、歩んでいければと思います。

そして信仰の試練がある時には、その先に待ち受ける神様からの大きなミッションのために、訓練を受けているという本質も見極め、歩んでいければと思います。

「…さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。信仰がためされると忍耐が生じるということ、あなたがたは知っているからです」(ヤコブ1:2,3)

いよいよ今年の白馬セミナーも近づいてきました。皆さんのお祈りとご参加、よろしく願います。皆様へのますますの祝福を祈っています。

心から感謝しつつ

チア・にっぽん

稲葉 寛夫



「父の心を子に向け、子の心を父に向けて」育まれる子どもたち (チア・コンベンション大阪会場にて)